

～ 第 2 次川西市総合戦略の骨子 ～

第 1 章 総合戦略の策定にあたって

1 総合戦略策定の趣旨

- ・本市では第 5 次総合計画のめざす都市像「であい ふれあい ささえあい 輝きつなぐまち」の実現に向けて、各施策に取り組んできた。
- ・しかし、人口減少や少子高齢化は進んでおり、本市を取り巻く環境は変化している。
- ・今後は、その変化を的確に把握し、市の特性や強みを活かしたまちづくりを推進していくことが重要である。
- ・総合計画は市民生活に関わる様々な施策を掲げているが、総合戦略はより魅力的なまちにしていくために必要な重点施策を明らかにし、集中的に実施するために策定するものである。
- ・各分野の個別計画と整合性を図り、まちのありたい姿をめざして事業を実施し、成果につなげていくことを目標としている。

2 第 2 次総合戦略の策定プロセス

- ・まちづくりの主体は住民であり、川西を良くしたいというお一人おひとりの力が必要であると考えている。
- ・そのため、第 2 次総合戦略策定では、住民とともにまちづくりを進めていくという観点から、住民同士の議論、住民からの意見を大切にしてきた。
- ・無作為抽出により選出された市民による「かわにし市民会議」を開催し、本市の課題やこれから必要となる取組みを議論していただき、行政主導ではないプロセス重視で策定を進めてきた。
- ・今後、総合戦略を実行していく上で、市民会議に参加した方を含めて、多くの市民のみなさまに市政へ関わっていただき、協働によるまちづくりを進めていきたい。

3 第2次総合戦略の基本的な考え方

(1) みんなが当たり前の幸せを実感できるまちをめざして

- ・戦略の策定にあたっては、まず子ども、子どもを育てる親、高齢者、障がい者など、住民の誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせる環境を整えて、まちに愛着をもってもらえる施策に主眼を置くこととする。
- ・また、そのような施策は結果として、住んでみたいと思える移住にもつながると考えており、転入者を含めた住民が将来にわたって幸せに暮らせるまちづくりを実現したい。
- ・第2次総合戦略では、市民が暮らしやすく、住みたいと思えるようなまちをめざすために、そして、川西市の魅力を知り、訪れた方が川西に住みたいと思ってもらえるために必要な3年間の重点施策を示すこととする。

(2) 川西らしさを大切にしたい 新たなまちづくり

- ・かわにし新時代は、市民のみなさまとともに作り上げたいと考えている。
- ・本市には住宅都市として発展してきたことと合わせて、コミュニティ組織による地域づくり活動が展開されてきたという強みがある。
- ・人と人のつながりは地域だけでなく、子育てや市民活動など、様々なシーンで生まれるものであり、そのようなつながりも大切にしたい、まちづくりに取り組んでいきたいと考えている。
- ・一方で、地域の課題解決や今後のまちの発展に向けては、先端技術の活用や民間企業との連携など、新たな発想による取り組みも重要である。
- ・川西市が有する人的資源や文化、歴史などの地域資源を大切にしながら、社会の変化を的確にとらえて、新たな施策を取り入れたまちづくりを進めていきたい。

4 計画期間

- ・令和2年度から令和4年度の3年間とする。

第2章 時代の変化、まちの移り変わり

1 まちの様相

2 人口

全人口

年少人口、生産年齢人口、老年人口

出生数、死亡数

転入数、転出数

将来推計

3 特徴

転入数、転出数

・年代別、男女別

就労状況

・年代別、男女別、総数における非就業率

住宅の状態

・空き家の数

市民実感調査

・住みやすさ、子育て

第3章 総合戦略

政策

課題

戦略

事業

第4章 資料編

- ・無作為アンケート結果
- ・提案書、市民会議アンケート結果（抜粋）
- ・その他関連資料